

2006年10月1日から2016年9月30日の間に当院で頭部MRI検査を受けた方へ

研究実施のお知らせ

研究の題名：静脈洞血栓症における頭部ルーチンMRI撮像法の診断能の比較検討

研究期間：研究機関の長の許可日～2018年9月30日

研究責任者：山梨大学 医学部 放射線医学講座 准教授 本杉 宇太郎

当科では、2006年10月1日から2016年9月30日の期間に頭部MRI検査を受けた患者さんを対象に、頭部MRI撮像法の有用性について検討する研究を行います。この研究は、山梨大学医学部倫理委員会の審議に基づき、医学域長の許可を得て実施するものです。

【研究の目的と意義について】

頭部ルーチンMRI検査のみで静脈洞血栓症を疑われれば早期診断につながると考えられますが、静脈洞血栓症の診断に頭部ルーチンMRI検査所見がどの程度寄与するかは不明確です。そのため、頭部MRI撮像法において、静脈洞血栓症の診断にどの撮像法が最も有用か、またどの組み合わせが有用かを明らかにすることは意義があると考えています。

【研究の方法について】

2006年10月1日から2016年9月30日の間に頭部MRI検査が施行され、DSA、造影CT、造影MRIなどで確定診断が得られた静脈洞血栓症患者と、その対照群としてDSAと頭部MRIが施行され静脈洞に異常がないと診断された患者を対象としています。対象となる方のカルテ情報から、患者背景、MRIの画像および検査結果を利用して頂き、非造影頭部MRI検査の有用性を検討します。

【個人情報の保護について】

収集したデータは、誰のデータか分からなくした（匿名化といいます）上で、統計的処理を行います。国が定めた倫理指針（「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

【研究協力の任意性と撤回の自由について】

この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報を利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時にすでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく担当医師にご連絡ください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

また、この研究に参加してくださった方々の個人情報および知的財産の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。希望される方は以下の連絡先までお申し出ください。

【問い合わせ等の連絡先】

山梨大学 医学部 放射線医学講座

准教授 本杉 宇太郎

電話 055-273-1111（内線：2382）

（対応可能時間 平日9：00～17：00）